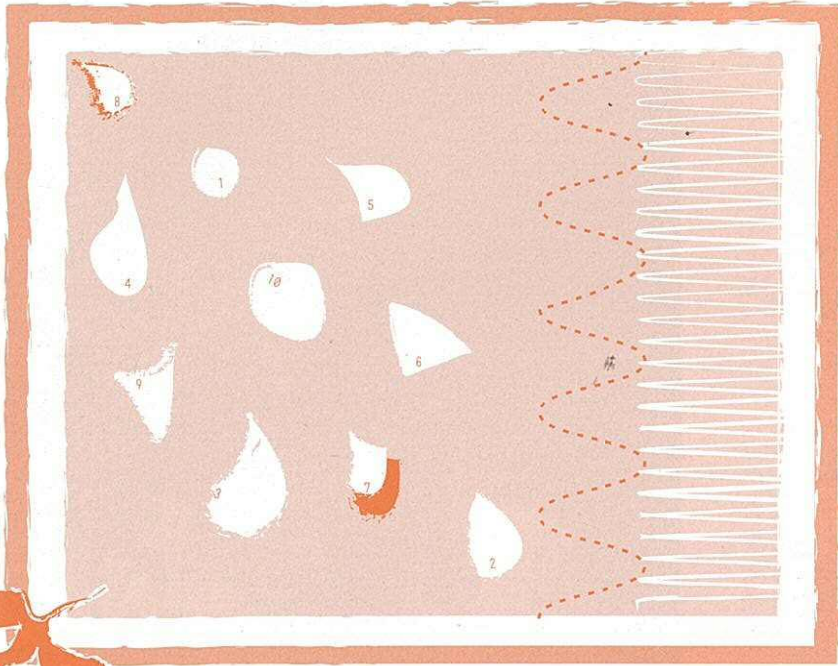


ハーモニー

鹿児島県男女共同参画センターだより



2012.9
vol. 23

特集 「鹿児島県男女共同参画センター 開設から10年」

■ センター事業から

■ サポーター'Sコーナー

■ 相談室から 2011年度の相談の状況

■ インフォメーション 2012年度下半期に予定されている主なセンター事業

■ 新着図書情報



あなたに会えて
ありがとう

～センター10年のあゆみとの対話～

あなたに会えてありがとう!
そんなふうに誰かと出会いたい!

確かに向き合う
ゆるやかにつながる

わたしたちに過ぎていく時間の中で
絡み合い、流され、立ち止まる…
たくさんの想いとことばたち

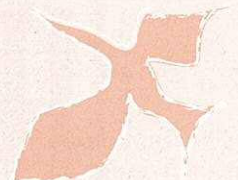
そこには、ときおり「男女共同参画の視点」が紡ぐ
小さな結び目があります
ほどく…にも自在で、新しい何かが始まるような

「男女共同参画の視点」を磨くことは
「私が私を生きるちから」を磨くこと

男女共同参画は
性別にかかわらず、あらゆる立場を生きる人の
日々の営みの小さなひとこまに関わり続けて
います

鹿児島県男女共同参画センター開館から10年
出会いと学びを重ねたセンター10年の
アーカイブスに…
あなたは何を語るのでしょうか?

鹿児島県男女共同参画センター
かごしま男女共同参画推進志願者協働会議
2012年7月



特集 鹿児島県男女共同参画センター

対談&ライブ 男女共同参画と自己実現

7月28日(土)

今年の男女共同参画週間事業のキーワード「ダイアログ」のまとめとして、オフィスビュア代表で県男女共同参画審議会副会長のたもつゆかりさんと中央大学法学部教授の広岡守穂さんの対談に交えて、プリマベアラのみなさんの素敵な演奏と歌による「つぶやきソング」のライブを行いました。

「つぶやきソング」三曲は、センターで実施しているつぶやきワークショップから掘り出されたつぶやきを基に広岡先生が作詞され、友人の茨木さんが曲を作ってくれた、オリジナルソングです。

「つぶやきソング」を聴き、対談を通してその歌に込められたメッセージや背景を読み解くことで、男女共同参画の考え方は、一人ひとりの自己実現に深く関わっていることに気づき、感じたとときでした。

あなたがわたしを傷つけるとき

作詞 広岡守穂 作曲 茨木大光

もうわたしに語りかけないでください
満ち足りた人のことは
わたしのころをずたずたにするから
もうわたしを見ないでください
満ち足りた人の目は
わたしの姿をとらえられないから

おまえを食わせてやってるなんて
いきなものね男なんて
わたしは わたしは 飯炊き女じゃありません

もうわたしにさわらないでください
満ち足りた人の手は
わたしのころをあたためないから
もうわたしに語りかけないでください
満ち足りた人のことは
わたしのころをずたずたにするから

おまえを食わせてやってるなんて
いきなものね男なんて
わたしは わたしは お掃除女じゃありません

◆つぶやきはどこからやってくるのか……

家庭の中での夫と妻の固定的な役割分担意識から、様々なつぶやきがこぼれています。特に、女性のおまかせが多く、この歌は、「私が『子育てや家事を手伝って欲しい』と言った時、夫から『おまえがおれと同じくらい稼げるなら、いつでも代わってやるよ』と言われ、それまで積み重なっていたささいな出来事が大きな塊となり、私の心を砕きました。」というつぶやきから生まれました…。

鹿児島県の意識調査では、男性の57%が「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に賛成で、男女の平均では52.9%と半分以上を占めています。これは、全国の調査と比較して11.6ポイントも高くなっています。

夫は、「自分や子どもの自己実現を支えることが妻の役割であり、幸せである」と思っているところがあり、また、妻は「家事を自らしている夫に『ありがとう』と言いながら、『すみません』と心から思う自分がいる」というように、固定的な性別役割分担意識は男性にも女性にも根強く残っており、その解消はなかなか困難な問題です。



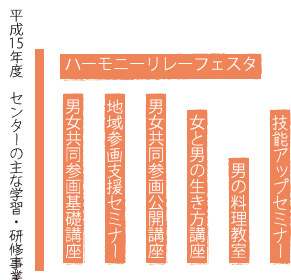
広岡守穂さん(中央大学法学部教授)とたもつゆかりさん(オフィスビュア代表)

センター10年のあゆみとの対話～学習者の視点でセンター10周年の歩みをつづりました。～

1年目 2003

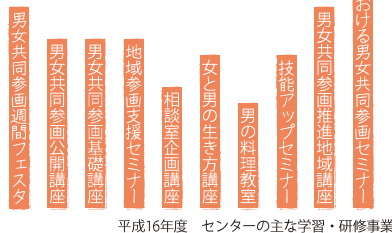
「相談」「情報提供」「学習・意識啓発」「人材育成」「交流促進」を展開する男女共同参画社会づくりに向けた総合的な拠点として、鹿児島県男女共同参画センターオープン。

鹿児島に生きる一人ひとりと優しく、確かに出会い続ける力こそが、男女共同参画センターの力でありたいと、そんな出会いに願いを込めて、センターの歩みが始まりました。



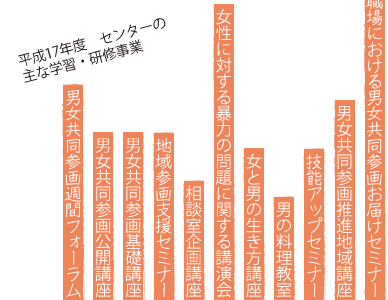
2年目 2004

DVが個人の問題として閉じ込められることのないように…、DVの根絶を願い、センター事業の折衝に発信されるメッセージには、これからもセンターにおいて、様々な取組を展開していく!!という決意が感じられました。男女共同参画を学び続ける私たちが、一人ひとりに最も近い発信者として、未だ、DVが「名前のない問題」として起こり続けている潜在化の現状に、地域の隅々に届く身近な啓発の役割を担い、その根絶への想いを深めました。



3年目 2005

センターが2年目から実施している「職場における男女共同参画セミナー」には、働くことにかかわる諸問題を人権・男女共同参画の視座から捉え直し、一人ひとりの「あなた」が抱える困難がくり出される社会のありかたを変えていかなければならないという思いが込められています。



開設から10年

男女共同参画週間事業(7/25~7/31) 「10年目のダイア

7/25~31は、県の男女共同参画推進条例で定められた男女共同参画週間です。女子差別撤廃条約が日本で効力を画について理解と関心を深めてもらうために、毎年、民間団体との協働により様々なイベントを行っています。今年、10の団体により構成された「かごしま男女共同参画推進志願者協働会議」との協働で、ダイアログ…「対話」をキーワードとして、理解を深めました。

◆ 男性にとつての男女共同参画と自己実現とは…

この歌の背景には、「友人の男性が亡くなりました。自死でした。優しい彼は、妻を苦しめたくないと自分の苦しみを一人で抱え込み妻に語ることもなかった。男らしくとか男だからとか思わなくて良かったのに。あなたのそんな思いを解きほぐすことができずに悔しい。」というつぶやきがありました…。

わかれ

作詞 広岡守穂 作曲 茨木大光

ガラス窓をつたう雨が 涙のしずくみえます
遠くへ行きたい このまにに悲しい思い出を
あれは秋の日 あなたがいなくなったとたんに
楽しい思い出が一つ一つ 悲しい思い出になりました

だれよりもやさしいあなたが
だれよりも一番苦しみました
その苦しみがあなたの愛する人たちを傷つきました
何故優しさに 人々は傷つのでしょうか
優しい人が生きていけない そんな世界なのでしょうか

コートにかかる落ち葉が 燃やした手紙にみえます
あなたに会いたい あなたを抱きしめてあげたい
あれは秋の日 あなたがいなくなったとたんに
楽しい思い出がみんなみんな 悲しい思い出になりました

演奏:PRIMAVERA(プリマベラ)

議を言う女が社会を変える

作詞 広岡守穂 作曲 茨木大光

わたしは議をいう女です 議をいう女が立ち上がり
議をいう女が働けば 歴史はすぐに変えられる
われらは議をいう女たち 議をいう女が立ち上がり
議をいう女が手を組めば 歴史はすぐに変えられる

議をいう女よ立ち上がり 議をいう女よ手をつなげ
議をいう女よ声を出せ 議をいう女よ動き出せ
わたしは議をいう女です 議をいう女が立ち上がり
議をいう女が働けば 歴史はすぐに変えられる
議をいう女よ 立ち上がり

我が国の自死者の総数は、毎年3万人を超え、うち2万人超が男性です。自死率は、米国の2倍、英国の3倍です。本県は全国13位(2011年)となっています。

男性にも、社会的につくられた性差であるジェンダーへの気づきの窓を開いて欲しい。性別にかかわらず一人ひとりの人権を大切にすることが男女共同参画の基本理念です。男女共同参画は、男性の生きにくさや辛さにも寄り添い、誰もが自分らしく生きることができ、自己実現を目指すことを支える考え方なのです。

◆ 個人的なことは、政治的なこと…

この歌は、「自分の所属する団体で初めて女性の会長が誕生した。最初は反対していた人たちも、一年、会長をやり遂げた彼女を見て、『別に女性になっても良かったね』と言った。『歴史はすぐに、変えられるんだ!』と思った。」というつぶやきから生まれました…。

5.7%、3.9%…これは、前者が本県の県議会における議員の女性の割合で、後者が県職員の本庁課長相当職以上の女性の割合ですが、政治分野、行政分野ともに全国に比べて低い状況です。そのような分野にもっと多くの女性が参画し、政策決定過程の男女共同参画が推進されることは、個人的な日常のつぶやきから見えてくる生活感覚と政治をつなぎ、個人的な領域として捉えられていたことを社会のかたちに変えることができるのです。これが、「パーソナル イズ ポリティカル」です。

『政治の目的は、一人ひとりの人間の自己実現を支えることである。人間はだれも一回だけのかけがえのない人生を生きている。だからだれもが自分の思うような生き方をしたいと願っている。それぞれがそれぞれの自己実現を望んでいる。そのとき、あなたは、貧乏人の子どもだからとか、あなたは女性だからとか、あなたは障がいがあるからといったそれだけの理由で自己実現の機会を取り上げてはならない。』

(広岡守穂著「政治と自己実現」より)

(インスタレーション~あなたに会えてありがとう~より抜粋)



オープン以来、鹿児島県における男女共同参画についての学習の場としての基幹的な役割を担う男女共同参画基礎講座。毎年、県内各地から多くの受講者が集い、この場からそれぞれの地域へと男女共同参画の学習と実践の輪が着実に広がっています。

センターから一人ひとりに近い地域へ…と、総合的な活動拠点としてセンターに要請される機能が徐々に発揮されるようになったこの頃から、基礎講座をはじめとする各種講座に男性の姿がちらほら見えるようになりました。

90年代に入ってバブル景気崩壊後に女子学生の採用中止が広がり、就職氷河期が続く中、男女雇用均等法の実効性を高める全面的な法改正が行われ、この年の4月に施行。女性働くことについての人々の意識と鹿児島島の現状に、職場における男女共同参画の取り組みの強化は、改めて、センターの重要な課題として位置づけられました。

男女共同参画基礎講座 平成19年度 センターの主な学習・研修事業

- 地域参画支援セミナー
- センターサポーター養成講座
- 男女共同参画フォーラム
- 女性に対する暴力の問題に関する啓発事業
- お届けセミナー
- 男女共同参画推進地域講座
- 女性のチャレンジ支援講座

5年目 2007

多様な立場を生きる一人ひとりを包摂する共生社会に要請される協働は、男女共同参画と不可分の関係にあり、センターでは、オープン当初から「協働」を視座に置いた人材育成を試行してきました。この循環の中から、13人の仲間たちが、この年からスタートした「男女共同参画地域推進員制度」の推進員一期生に委嘱されました。10周年を迎えた現在、推進員は65人となり県内各地で多様な活動を展開しています。

6年目 2008

平成20年度 センターの主な学習・研修事業

- 男女共同参画基礎講座
- 男女共同参画地域協働推進講座
- センターサポーター養成講座
- 男女共同参画推進地域講座
- 女性に対する暴力の問題に関する啓発事業
- お届けセミナー
- 女性のチャレンジ支援講座

「ログ」～私と社会、私とあなたを結ぶ男女共同参画～

を發した1985年の7月25日を記念して、この日から1週間を本県独自に定め、県民の方々へ男女共同参画の週間事業は、男女共同参画センター開設10年目の節目の年ということもあり、センターで学んできたワードにワークショップやインスタレーション、対談&ライブと様々なイベントを通して男女共同参画への

ダイアログカフェ

7月28日㊥

多様なライフスタイルを生きる希望と困難

「あなたは今、どんなふうな日々を生きていますか?」こんな問いかけから始まる人々との対話。県内7つの団体が、各々の地域でアンケートやインタビューなどの対話により見つけ出された870人分の辛さや困難。そこからこぼれるつぶやきを掬いだし、その思いに寄り添いみんなで対話しました。



◆「つぶやき」が個人の中に閉じ込められてしまわないように…

報告全体を通して、日々の暮らしの中で最も多く掬い出されたつぶやきは、やはり固定的な性別役割分担意識に基づくものでした。そして、ほとんどは女性からのものです。「家事は女性の役割」「長男の嫁の役割」「女性は補助的な仕事」「一人の時間がとれない」等々。でも、男性のつぶやきも聞こえてきました。「話し相手がない」「仕事を辞めたいけど…」職場での不安」等々。

つぶやきが個人の中に閉じ込められてしまわないように、つぶやける場所があること、そして、性別にかかわらず一人ひとりが尊重される男女共同参画についての学びが、辛さや困難の解決に繋がることをみんなで確認しました。

◆多様性が尊重される社会の実現をめざす男女共同参画

そしてもう一つ、「つぶやき」から掬い出された「きちんと、ちゃんと」「普通は～」「こうあるべき」ということに苦しんでいる若い人たちが多いということ。それは、社会が決めた概念。自分を信じて自分らしく生きることが大切であり、そのためには、自分と向き合い、自分を大切にしつつ自分と違う他者を認められることが必要です。

「ひとりひとり、みんな違ってみんないい」そんな多様性が尊重される社会の実現には、男女共同参画の視点からの人権教育が重要であることを改めて再認識しました。

ワークショップ「コトバコツクリ」



7月27日㊥

あなたの好きなものは何?

「うーん、オムライス!」じゃあそれをハコにしてみよう。「???」最初は、とまどっていた子どもたちも、じーっと考え込み、その後お互いにコミュニケーションをとりながらアドバイスし合い、用意された様々な材料や道具で思い思いに「コトバコツクリ」を始めました。

わたしたち一人ひとりは、いろいろなコトバが入っているハコ!コトバを使ってハコを創り、ハコを使ってコトバを創る。世界にひとつだけの自分のハコに、子どもたちみんな満足げでした。



教職員対象セミナー

「コトバコツクリ」のつづき ～「コトバコツクリ」参観教職員との対話

7月27日㊥

このセミナーは、教職員を対象として開催したワークショップです。ワークショップとは、参加型の学びの場。そして、一人ひとりを尊重することから始まります。

「コトバコツクリ」を参観した先生方が、気づいたことを持ち寄り、ワークショップ型の授業やコミュニケーション教育の進め方について学びました。



集まれ!話そう! センター大好き交流会

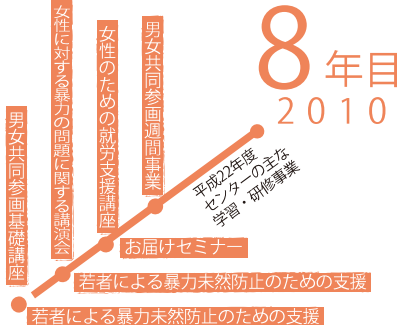
7月29日㊥

男女共同参画センターでの学びと出会でゆるやかにつながってきた方々、そして、これからの社会を担っていく若い人たちが、センターの10年のあゆみと、これからについて時間を忘れて語り合いました。



7年目 2009
男女共同参画社会基本法が制定されて10年を迎えたこの年、私たちは、依然として地域社会に根強く存在する固定的な性別役割分担意識に基づく諸制度又は慣行の壁に打ち尽くすこともしばしば…法律ができて10年も経つのにとつぶやきつつ地域で男女共同参画を進める困難と格闘していました。

- 平成21年度 センターの主な学習・研修事業
- 男女共同参画基礎講座
- 女性に対する暴力の問題に関する啓発事業
- お届けセミナー
- 男女共同参画推進地域講座
- 若者による暴力未然防止のための支援
- 男女共同参画地域協働推進講座
- 「仕事と生活の調和」のための意識啓発



8年目 2010
この年からセンターは、より一層、男女共同参画社会の形成を阻害する地域課題の解決に向けた具体的な事業展開を図り、女性が働き続けるための就労支援等具体的な課題に対応する学習・啓発の機会を創出に取り組んでいます。特に、相談件数が毎年1000件を超え、中でもDVに関する相談が増加する現状に、被害者支援にあたる人を対象とする研修の充実を図る意欲には、オープン以来、女性に対する暴力の根絶を願い続けてきたセンターの想いが集積しています。

- 9年目 2011
平成23年度 センターの主な学習・研修事業
- 男女共同参画基礎講座
 - 男女共同参画週間事業
 - 人権・男女共同参画教育セミナー
 - お届けセミナー
 - 男女共同参画推進地域講座
 - 女性に対する暴力の問題に関する啓発事業
 - 若者による暴力未然防止のための支援
 - 男女共同参画地域協働推進講座
 - 事業所向け男女共同参画セミナー
 - 女性の働き方講座
 - 地方自治を担う女性のエンパワメントセミナー

学校教育における男女共同参画の推進を願って実施した「人権・男女共同参画教育セミナー」を始め、この年に実施した諸事業には、男女共同参画社会の形成に影響を及ぼす具体的な諸課題について、県政における諸施策との連携を試行するなど新たなセンター事業の展開を兆す意欲がみられます。

センター事業から

(2012年度上半期)

5/11、7/5、7/20

学校への男女共同参画お届けセミナー

下記の3校が実施した男女共同参画に関するセミナーに、それぞれ講師を派遣しました。下半期は7校に講師を派遣します。

○5/11 垂水高等学校「デートDVについて」
(教職員・保護者対象)
講師 谷崎和代さん

○7/5 龍桜高等学校「アサーティブなコミュニケーションについて」
(1年生・教職員対象)
講師 高崎恵さん

○7/20 志布志高等学校
「デートDVについて」
(全校生徒・教職員対象)
講師 谷崎和代さん



6/9、6/16、6/30、7/7

男女共同参画基礎講座

センターオープンから10回を数える人気講座に、今年も県内各地から100名近い受講者が参加し、たもつゆかりさん、高崎恵さんを講師に、男女共同参画についての基礎知識や地域で男女共同参画を推進するための実践活動に必要なスキルを学びました。



8/8 デートDV防止セミナー

出水市と出水市教育委員会の協力を得て、主に出水市の保護者及び教職員の方を対象に、デートDVの防止に向けたセミナーを開催しました。

第1部は鹿児島純心女子大学学生サークルS&Iが、同大学准教授の谷崎和代さんを講師に講演会を行い、第2部では、ワークショップデザイナーの高崎恵さんが、学校におけるデートDVの防止啓発と指導の進め方をテーマにワークショップを行いました。



6/19・20

DV被害者を支援する相談員等スキルアップ研修会

特定非営利活動法人女性人権機構と共催で、DV被害者支援に関わる相談員等を対象とした研修会を開催し、スーザン・アームストロングさん(教育学修士、クリニカルカウンセラー)を講師に、DV被害者支援に必要な知識の習得とワークショップを通じたスキルアップを図りました。



サポーター's コーナー

昨年度に引き続き、かごしま県民交流センター主催事業の参加者の託児をサポートするボランティアスタッフを養成する講座を開催し、この講座を修了した11人を新たに託児サポーターとして委嘱しました。

また、今回委嘱を更新された事業運営サポーター5名に新たに募集した情報発信サポーターの2名を加え、また一つセンターへのサポートが充実してきました。



事業運営及び情報発信サポーターの皆さん



託児サポーターの皆さん

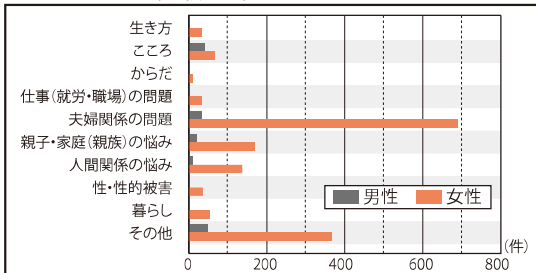


相談室から

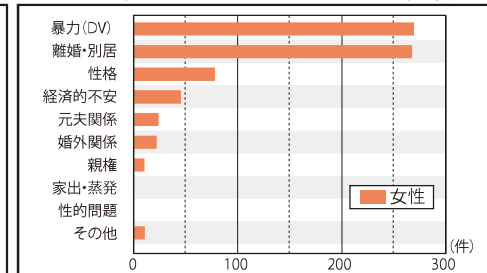
【2011年度の相談の状況】

相談件数は、一般相談1,056件(電話869件、面接187件)、専門相談37件の計1,093件で、8年連続1,000件を超えました。相談件数の89%が女性からでした。また、年代にかかわらず「ドメスティック・バイオレンス(DV)」及び「離婚・別居」に関する相談が多く、それぞれ一般相談全体の3割近くに及んでいます。特にDVに関する相談は274件で、昨年度に引き続き最も多い相談内容でした。相談者の年代別では、30代が最も多く、50代、40代の順でした。

相談内容別件数(一般相談)



「夫婦関係の問題」における相談内訳別件数(一般相談)



ぴあ・すてーしょん

鹿児島大学医学部保健学科サークル「ピア☆びあ☆かごしま」が、若者の男女交際の悩みやデートDV、性感染症等についての相談に応じています。

日時

毎月第3土曜日
14:00~16:00

場所

かごしま県民交流センター
1階 ミーティングルーム

一般相談

【電話相談】099-221-6630・6631
(受付時間)水~日曜日/9:00~17:00
火曜日・休館日翌日/9:00~20:00
(休館日)月曜日(祝日の場合は翌日)
【面接相談】事前に予約が必要

専門相談

※すべて事前に予約が必要
【法律相談】原則第1・3火曜日(面接)
【メンタルヘルス相談】原則第3木曜日(面接)
【男性相談】原則第2土曜日
(男性相談員による相談:面接・電話)

男女共同参画地域協働推進講座

期日・場所 10月20日(土)・21日(日) 知名町商工会館
12月1日(土)・8日(土) 錦江町中央公民館
内容 男女共同参画の概念、地域づくりと男女共同参画等
講師 たもつゆかりさん(オフィスビュア代表、県男女共同参画審議会副会長)

事業所向け男女共同参画セミナー

期日 1月中旬(予定)
内容 企業におけるポジティブ・アクションの促進
対象 事業主、事業所の人事労務担当者等

女性の働き方講座2013

期日 1月20日(日)・2月2日(土)・2月16日(土)・3月2日(土)
内容 女性の就労の継続やキャリアアップを支援する講座
対象 20~30代の女性
実施団体 鹿児島ウーマンライフ研究会

誰だってケアメン~肩肘はらない男の介護~

期日 1月13日(日)
内容 男性介護者等の実態と支援のあり方について考えるセミナー
対象 男性介護者、介護に関心のある男性、行政担当者等
講師 津止正敏さん(男性介護者と支援者の全国ネットワーク事務局長)

女性に対する暴力防止キャンペーン

「女性に対する暴力をなくす運動」期間(11/12~11/25)
○街頭キャンペーン(★)
期日 11月12日(月)
場所 鹿児島中央駅前
実施団体 国際ソロプチミスト鹿児島等民間団体・関係機関
○アミュラン点灯 11月12日(月)・25日(日)
○女性のための法律110番(弁護士による電話相談対応)
期日 11月20日(火) 10:00~16:00
予約電話 099-221-6630(事前の予約が必要です)
○パネル展
11月12日(月)~25日(日) かごしま県民交流センター
11月1日(木)~25日(日) 県庁展望ロビー

高校生のためのピアサポーター養成講座

日時 12月9日(日) 10:00~16:00
内容 悩みや問題を抱える同年代をサポートできる高校生を養成する講座
実施団体 鹿児島大学医学部保健学科サークル「ピア☆びあ☆かごしま」

男性の生き方・働き方塾 ~この連立方程式を解くヒントとは~

日時 12月16日(日)
第1部/講演会10:00~12:00
第2部/タイムマネジメント研修13:00~16:00
内容 多様な生き方・働き方について学ぶ講座
対象 男性
講師 渥美由喜さん
(株)東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長

*新*着*図*書*情*報*

新しい本が図書コーナーに入りました。その中から2冊を紹介します。

※新着図書一覧はセンターのホームページに掲載中です。

「政治と自己実現」

「政治とは何か?私はこの問いに答えるのに、『自己実現』という言葉から発したいと思う。」(筆者談)

この「自己実現」をキーワードに、近代日本の思想の発展・政治思想の歴史をたどりながら、今後の展開を新たな視点から読み解いた一冊です。

広岡 守穂著
中央大学出版部(2012年1月)



「ビジュアル ムダとり 時間術」

「イクメン」の生みの親として知られ、ワーク・ライフ・バランスの分野で著名な筆者が、現代のビジネスパーソンにとって不可欠な時間管理のスキルを、自らの経験に基づき、ビジュアルかつコンパクトに解説した一冊です。

特に男性にオススメです。

渥美 由喜著
日本経済新聞出版社(2012年6月)



情報提供・交流サロン (男女共同参画センター関連) のご案内

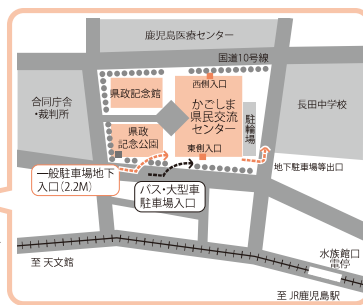
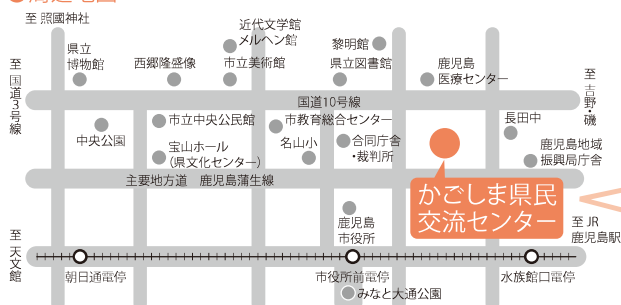
《図書等の閲覧・貸出》

男女共同参画に関する図書の貸出は、1人5冊までで期間は3週間以内です。団体等へはビデオ、DVDの貸出も行っています。

《ミーティングルーム》

男女共同参画に関する学習会等に御利用いただけます。(要事前予約)
〈利用時間〉9:00~17:00
〈休館日〉毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日~1月3日

●周辺地図



交通案内

「JR利用」または「市電・バス」
鹿児島駅から徒歩約10分
[鹿児島市役所前]バス停下車徒歩約15分
[水族館口]バス停下車徒歩約5分

駐車場

約350台収容 150円/30分
※センター利用者は2時間まで無料

編集・発行



鹿児島県男女共同参画センター

(かごしま県民交流センター内) 〒892-0816 鹿児島市山下町14-50

●ハーモニーの掲載記事(バックナンバーを含む)は、ホームページにも掲載しています。

TEL 099-221-6603

FAX 099-221-6640

電子メール harmony@kagoshima-pac.jp

ホームページ http://www.kagoshima-pac.jp